



家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例
の適用を受ける場合の必要経費の額の計算書
(裏面の2の(3)に当てはまる方は、この計算書を使用してください。)

納税地

氏 名

(年分)

事業所得	総 収 入 金 額		①	円
	特例適用前の必要経費の額		②	
雑所得	総 収 入 金 額 (公的年金等に係るものを) 除きます。		③	
給 与 所 得 の 収 入 金 額			④	
55 万 円 - ② - ④			⑤	(赤字のときは0)
55 万 円 - ③ - ④			⑥	(赤字のときは0)
特例適用後の必要経費の額	事業所得	③がない場合	①と⑥との いずれか 少ない方の金額	⑦
		③が⑤より少ないか同額の場合		
	雑所得	③が⑤より多い場合	②の金額	⑧
		③と⑤とのいずれか 少ない方の金額	⑨	

各種引当金・準備金等の繰戻額等の金額を含めて書きます。

「家内労働者等の事業所得等の所得計算の特例」を適用する前の必要経費の額(青色申告特別控除額は含みません。)を書きます。

・青色申告の場合は、青色申告決算書の「青色申告特別控除前の所得金額」欄に、上の①の金額から⑦又は⑧の金額を控除した残額を書いてください。その際、金額の頭部に㊦と書いてください。なお、申告書第一表の「所得金額等」欄の営業等・農業には、青色申告決算書の青色申告特別控除後の所得金額を転記しますが、その際、金額の頭部に㊦と書いてください。

・白色申告の場合は、収支内訳書の「所得金額」欄に、上の①の金額から⑦又は⑧の金額を控除した残額を書いてください。その際、金額の頭部に㊦と書いてください。なお、申告書第一表の「所得金額等」欄の営業等・農業には、収支内訳書の所得金額を転記しますが、その際、金額の頭部に㊦と書いてください。

業務に係る雑所得の総収入金額から⑨の金額を控除した残額を申告書第一表の「所得金額等」欄の業務に書いてください。その際、金額の頭部に㊦と書いてください。

(注) 事業所得の中に、営業等所得のほかに農業所得がある場合には、①及び②は、その合計額によって記載してください。この場合、⑦又は⑧の金額は、各所得の特例適用前の所得金額の比などによりあん分して、それぞれの事業所得の金額の計算上必要経費に算入してください。
雑所得の中に、業務に係る雑所得のほかにその他の雑所得がある場合には、⑨の金額を業務に係る雑所得の収入金額から控除し、控除しきれなかったときは、その他の雑所得の収入金額から控除します。その他の雑所得が赤字の場合は0円になります。

○この計算書は、申告書と一緒に提出してください。

○この計算書を使った方は、申告書第二表の「特例適用条文等」欄に「措法27」と書いてください。